

# 農政環境常任委員長として活動

昨春の県議選の後、初召集された定例県議会で農政環境常任委員会委員長に選任されました。経験を活かして即戦力として期待に応えるべく、兵庫の強みを生かした力強い農林水産業の展開に取り組んできました。

## 力強い農林水産業へ全力 6次産業化へ展開

農政環境常任委員会は、農林水産施策の総合的推進、「ひょうご農林水産ビジョン2025の推進」と「第5次兵庫県環境基本計画」に基づく、環境適成型社会の推進を所管しています。

農林水産業は、県民の食と暮らしを支える重要な基幹産業であり、また、地域創生の本格化に向けた地域活性化の要役を担っています。

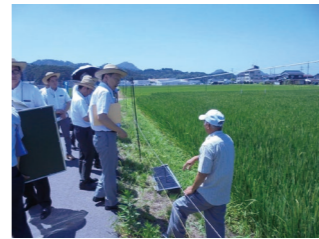
兵庫の豊かな食は、国内外から注目を集めており、「平成の御食国ひょうご」の創造をめざしています。重点項目として、需要に応える農業の競争力強化と持続的発展を掲げ、園芸作物の生産拡大や山田鏡、神戸ビーフなどのブランド力強化に努めました。また、議員提案による「県産木材利用促進条例」に基づく木材の有効利用を目標に掲げました。



西播磨調査で農政環境常任委員長としてあいさつ

さらに環境分野では、自然環境の創造・保全やCO2の排出など地球温暖化の防止に努め、瀬戸内海を豊かな循環型社会の構築に向けた活動を展開しました。

このほか「6次産業化



但馬丹波を視察、収穫の説明を聞く



阪神地区で都市近郊農業の実態を調査

等による農業・農村ビジネスの展開」を特定テーマ調査研究としました。先進事例の調査視察、学識経験者からの意見聴取などを実施、農イノベーションの促進等の政策提言を取りまとめました。

## 県民生活の安全安心を確保する 警察常任委員会に所属

6月議会の常任委員会委員の改選で、令和2年度は警察常任委員会に所属しています。

「すべての県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現」を目標として、総合的な犯罪防止対策、地域における見守り力の強化に取り組んでいます。

また、特殊詐欺対策や新型コロナウイルス感染症に関連して懸念されるDVや虐待などについても関係部局と連携しながらの強化に取り組んでいます。

早期発見、事前防止対策を進めることにしています。

このほか、少年の非行防止、「ながらスマホ」による交通事故防止対策、警察施設等の活動基盤の整備充実などを進めています。

「安全安心」は県民生活の基礎であり、地域と一体となった参画と協働が最重要であると考えています。

## フォト・レポート



▼敬老会であいさつ  
▲政経セミナーで県政を語る

▼自主防災訓練に参加  
▲運動会に飛び入り参加

▲地域の要望を受けて現地調査  
▲姫路の少年野球を盛り上げます

▲地域の行事には必ず参加  
▲危険な通学路の現地調査

### 県政レポート

## 実の目

兵庫県議会議員 北野 実

発行：北野実事務所  
住所：姫路市神屋町3-37-4  
電話：079-288-8182  
ホームページ：北野実 検索  
www.kitano-minoru.com

今夏は、マスクとコロナ、特別な暑い夏となりました。益踊りはじめ夏の地域行事、播州の秋祭りまでも中止となり、人々の強い繋がりが薄れ、地域自治の力が削がれていくように感じられ不安になります。しかし、こんなコロナ禍でも季節が巡ると同じように、必ず夜は明け陽が昇り、コロナが明けます。今こそ「本気でヤル気」の強い心をもって「命を守る政治」「未来に責任のある政治」を実行して参ります。

## 「命を守る政治」いまこそ

方々のご尽力には言葉では言い尽くせない程の感謝の気持ちでいっぱいです。

奇しくも経済との共生「ウィズコロナ」へと舵を切った途端、二波の感染拡大は、国全体が先行きの見えない不安に陥つており、今世紀最大の惨禍をすべの国民が一致団結し、如何にして乗り切れるのか、真価が問われています。

兵庫県議会議員 北野 実

公衆衛生レベルの高さと真面目に物事に取り組み国民性において、世界で一番コロナに対応できている国とも信じています。

今後は、未来のためにもポストコロナ社会への備えが重要となります。阪神大震災から創造的復興を成し遂げた兵庫の底力を發揮し、皆様方の暮らしと命を守るために国・兵庫県・姫路市との連携を「層深め、熱い心で暑い夏に「本気でヤル気」働きます。

令和2年8月

昨年6月からの新任期と同時に「農政環境常任委員長」を拝命し、二年目の本年は議会選出の「監査委員」と重要な役割を連続して務めさせていただく事になり、責任とやりがいを感じておられます。

コロナ禍での医療従事者はじめ福祉関係者の



井戸知事から監査委員の任命状を受け取る

## 街頭県政報告会自粛中

新型コロナウイルス感染症は、私の政治活動にも影響を及ぼしています。恒例となった毎週火曜日早朝の姫路駅前での街頭演説は、当初、マスク着用により、県政報告をさせていただいておりましたが、3月31日(火)から自粛止むなまでに至りました。

ご理解を、よろしくお願ひ申し上げます。



## 実考心動(じこころしんどう)

### 実が考え心で動く

経営状況については「この一か月で二年分の赤字が」という悲痛な声を聴くに及んでは、次の言葉が出てきません。医療崩壊は何が何でも避けなければならぬ。県立病院は、罹患の恐れを顧みず、その最前線で戦っている。「感謝」■南米アンデス地方に伝わる「ハチドリ」のしずく」というお話です。「森が燃えていました。森の生き物たちは我先にと逃げていきます。でもクリキンデイという名のハチドリだけは口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上にと落ちていきます。動物たちはそれを見て「そんなことして何になるんだ」といつて笑います。クリキンデイはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」■たとえどんなに非力で無理だと思っても、とにかく信じてどこに向かっても行動することの大切さを教えられます。■今、私たちにできる事「自粛」と「自己防衛」コロナに負けるな！

(実)



"人生を楽しく生きよう会"のラジオ体操で

■監査委員として県立病院へも監査に出向くことがあります。コロナ禍で不休で対応に取り組み大変な状況下の中、監査に時間を割いてもらうのにも気が引ける思いでいっぱいになります。ある病院では「感染症対応の指定病院でないのだから、ビクビクしながら治療にあたっています」との不安な声を聞きました。しかし、続いて「院内感染を絶対に出さないという使命感を持って取り組んでいます。」と力を込める声に接したときに、本当に感謝の気持ちが胸に溢れます。■ところが、病院の

# 県立はりま姫路総合医療センター起工式に出席

県立はりま姫路総合医療センターは、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編、急性期医療を提供する総合病院と位置づけられています。

診療科目は、内科、外科及び産婦人科、小児科など34科、病床数は736床を予定。

昨年9月には、北野実県議も出席して、病院棟外建築工事の起工式。令和4年の開院を掲げています。



北野実県議は「圏域の中核医療機関として、県民の命を守る拠点になつてほしい」と語っています。

# 西村康稔経済再生担当大臣と熱く意見交換

北野実県議は、西村康稔経済再生担当大臣と面談し、新型コロナウイルス感染症、兵庫の地域創生などで意見交換を行いました。



西村大臣は、内閣官房副長官を務め、昨秋の内閣改造で初入閣、コロナ発生に対応して新型コロナウイルス対策担当大臣に就任しました。

兵庫県議会では、コロナ感染症発生に対応して、2度の臨時議会と定例県議会を開き、中小企業への支援、最前線で感染症に対応している医療関係者への慰労金の支給など現場の願いに応える支援策を議決してきました。

# 事態に即応し臨時議会切なる願いにこたえて 中小企業支援など充実

## 新型コロナウイルス対応予算の推移



# ポストコロナ社会見据え 兵庫の基盤をつくる

## これまでの取り組み成果

### 1 経済・雇用を支え守る

#### 中小企業などの事業継続支援

- ・融資実績6、156億円。「コロナ対策貸付」、「危機対応貸付」など6種類の融資制度で事業継続を支援
- ・無利子貸付、承諾実績6、630億円を超える(8月7日現在)
- ・休業要請事業者継続を支援(中小法人100万円、個人事業主50万円等)
- ・がんばるお店・お宿を応援 500件を2、000件に拡充。テイクアウトはじめ新たな事業展開に上限10万円まで支援

### 2 相談・検査・医療体制に万全

#### 宿泊療養を徹底、自宅療養者ゼロを堅持

- ・軽症者等の宿泊療養施設を578室に拡大。特定警戒都道府県で自宅療養者ゼロは北海道、石川、兵庫のみ

#### 感染拡大前に保健所圏域を越えた入院調整体制を構築

- ・CCC-hyogo(入院コーディネートセンター)の設置、EMIS(広域災害・救急医療情報システム)を創設、活用

#### 迅速なPCR検査体制で検査待ち解消

- ・これまでで最多の検査数(270件)にも対応できる404件を確保。
- ・陽性患者への連続2回の陰性確認を継続

## 感染拡大に備える

### 中小企業・個人事業主へ支援金を上乗せ

- ・「新型コロナウイルス感染症保証料応援貸付」を創設 制度金融で一括前払いの保証料を無料に
- ・「新型コロナウイルス感染症対応無利子資金」限度額引き上げ 融資限度額を3千万円から4千万円に引き上げ
- ・支援金を追加。休業要請が続いた業種を対象。中小企業最大50万円、個人事業主15万円の支援金を追加
- ・営業時間短縮に協力した飲食店にも最大10万円を給付
- ・店舗再開へ3密を防ぐ対策費を支援。喚気設備や仕切り板など、中小企業は1か所20万円(複数の場合は40万円)、個人事業主は1か所10万円(同20万円)を支給
- ・商店街組合に100万円、商店街連合会に200万円支援、民営バス事業者、旅客船事業者も支援

### 医療提供・感染拡大防止対策を強化

- ・医療従事者らに慰労金
- ・感染者に対応した医療従事者らに最大20万円を支給
- ・クラスターが発生した介護、福祉施設職員らに20万円支給
- ・第2波拡大期に対応、病床650床(重症病床120床)を維持。宿泊療養室700室(5施設)を確保
- ・国の「空床」補償に1床に4万円から30万円を上乗せし病床を確保
- ・医療用マスクなど医療用資機材を、医療機関では3か月、県では6か月の使用量を保管
- ・PCR検査を拡充:1日2500件体制を構築
- ・地域外来・検査センターを県内8か所に新設
- ・新型コロナウイルス兵庫版追跡システムを運用
- ・すべての医療従事者等50万人を対象に慰労金支給
  - 1)患者等受け入れ、濃厚接触者に対応:20万円
  - 2)患者等受け入れず:10万円
  - 3)感染症対策に一定の役割を担った施設等:5万円

### 生活を支える

- ・生活福祉資金の貸付原資を追加助成(7月末貸付実績140億円超)
- ・離職を余儀なくされた方へ:500人規模のつなぎ雇用を創出

これから

# ひめじビフォーアフター

## 防災・減災・国土強靱化緊急対策

これまで取り組んできた市川の河川ネットワーク河川内における樹木伐採事業が完成しました。



## 歩道の雑草 伐採

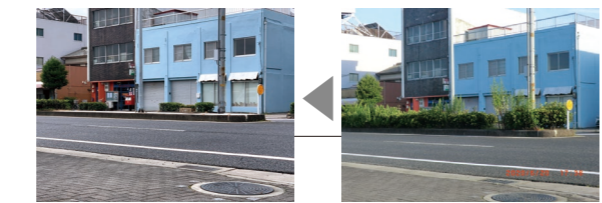
緊急事態宣言が解除され、県内及び近隣府県の感染状況を踏まえつつ、6月1日から学校における教育活動が再開されました。ところが、今在家中草が繁茂し、通行を



妨げているとの相談。要望を受けて現地調査を行いました。現地を視察すると、狭いところわずか50cmの幅しかなく、朝夕は、網干高校や姫路南高校、そして家島校区の生徒が自転車や通学する通学路でした。さらに、この状況では、災害時の避難行動(歩行、車いす等)の障害になると感じた次第です。

## 中央分離帯の植栽撤去及び舗装

城東87号線(商工会議所から国道の東横から国道2号線を横切る(南進)車や自転車車が中央分離帯の植栽繁茂により、安全確認が難しく事故が多発しています。また、視界の悪い2箇所を各20m分の植栽を撤去して舗装を願う要望を受けました。



そこで、1日も早い交通事故の防止のために姫路土木事務所と相談、道路2課が現地確認し、最善の方法が施されることとなりました。1箇所20mもの距離を撤去してしまつと、見通しが良くなりすぎ、人の横断事故を誘発する恐れがあることから、2か所を4箇所に分けて10mずつ撤去することとしました。

## 林田川・河川内整備

防災・減災・国土強靱化緊急対策で、市川、夢前川ほか災害に備えるため数々の河川整備に取り組んでいます。林田川は、意外にもその対象から外されていました。大雨の際に河川内に繁茂する樹木が、洪水時の流れを阻害し、右岸を越えて河川と隣接する避難所の林田小学校、林田こども園に流れ込む危険性を感じた次第です。また、この河川内に害



害を受けた河川内には害

## 防災と 福祉の連携

城巽地区では、防災と福祉の連携促進モデル事業として自主防

獣(シカ、イノシシ、ヌートリア、アライグマ等)が果を造り、農作物に被害を及ぼし、畑をやめてしまう農家が増えています。今回、県河川砂防課 県姫路土木事務所ほか多くの関係部署の協力を得て、梅雨前に安全、安心な暮らしを確保、提供することができました。

災組織や自治会等が、避難のための個別支援計画を作成する過程で、歩道ブロックの破損、浮き、波打ちの状態(ラクダの背)の箇所が多く見受けられました。現状の歩道は災害時の避難行動(歩行、車いす等)の障害になると考えられました。このため突然起こる災害に備えて、すぐに改善しました。

までの道の両端の雑草が背丈以上に成長しており、見通しが悪くなつていました。さらに害獣が果を造るなど、徒歩及び車での進入が非常に危険な状況となつていたために、雑草などの伐採除去によつて改善しました。

その結果、開拓道路の舗装は維持管理の行為とみなされる、開拓道路の舗装には問題がないとの回答を得ることができ、隣接する開拓道路を同時に舗装整備した次第です。

## 道両端の 雑草の伐採

姫路市別所町小林では、畑にたどり着く



一部幅が狭くなり、車

## 里道の 舗装整備

深志野野舗装整備は、姫路市道路保全課により里道を年度内に舗装工事する予定ですが、



一部幅が狭くなり、車